


その他	⑥ 支承の機能障害	1 / 4		
判定区分 II	構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。 (予防保全段階)			
	例	支承の塗装が劣化し、台座コンクリートの剥離が生じている。放置すると劣化が進行し、補修による支承機能の維持が困難となることが見込まれる場合		
	例	支承本体に腐食が見られ、支承機能が低下しており、放置するとさらに機能が急速に失われていくと考えられる場合。		
	例	支承部の防食機能が著しく低下し、全体に腐食が進行しつつある場合。放置すると急速に機能回復が困難な状態になると見込まれる場合。		
	例	腐食が進行しつつあり、ボルトにも緩みが生じている。放置すると腐食のさらなる進行や地震や温度の作用などにより着実に性能が低下することが見込まれる場合。		
<table border="1"> <tr> <td data-bbox="233 1787 336 1821">備考</td> <td data-bbox="336 1787 1374 1995"></td> </tr> </table>			備考	
備考				

その他	⑥ 支承の機能障害	2 / 4
-----	-----------	-------

判定区分 III	構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。 (早期措置段階)
----------	---

例	 <p> 支承本体全体が著しく腐食しており、板厚減少も進行している場合。 このまま腐食が進行すると、耐荷力の低下により、桁の脱落等の重大な災害に至る可能性が考えられる。 </p>
---	--





例	 <p> 支承や取り付け部の主げた等に板厚減少を伴う著しい腐食が進行している場合。 </p>
---	--

例	 <p> 支承の取り付けボルトが破断しており、支持機能が低下している場合。 地震などの大きな外力に対して所要の機能が満足できないと考えられる場合。 </p>
---	---

例	 <p> ゴム支承本体に顕著な亀裂が生じている場合。 地震などの大きな外力に対して所要の機能が満足できないと考えられる場合。 </p>
---	--

備考	<p> ■ 支承本体や取り付け部に顕著な損傷があると、通常交通荷重に対しては機能しても、大規模な地震の作用などに対して所要の機能が発揮されないことで、深刻な被害を生じることがある。 </p>
----	---

その他	⑥支承の機能障害	3 / 4
判定区分 IV	構造物の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態。 (緊急措置段階)	
	例 ローラー支承のローラーが脱落するなど、支承の荷重支持機能が失われている場合。 (大きな路面段差や桁の脱落等で危険な状態になる可能性がある)	
	例 台座モルタルの破損により、支承の荷重支持能力が大きく低下していると認められる場合 (大きな路面段差や桁の脱落等で危険な状態になる可能性がある)	
	例 支承部および取り付け部の桁や下部工本体が大きく損傷している場合 (支承の機能が喪失しており、落橋に至る可能性がある)	
	例 支承および主桁の取付け部で、著しい断面欠損を生じている場合 重交通の影響や中小の地震によっても桁端部が崩壊する可能性がある。	
備考		

その他	⑥ 支承の機能障害	4 / 4
<p>詳細調査が必要な事例</p>		
	<p>例</p> <p>支承および桁端部に遊間の異常が認められ、原因の究明が必要と考えられる場合。</p>	
	<p>例</p> <p>支承近傍にも腐食が広がっており、亀裂の併発が疑われる場合。</p>	
	<p>例</p> <p>地震後の異常な残留変位により、支承本体の損傷が疑われる場合。</p>	
	<p>例</p> <p>支承取付部の損傷が支承機能に影響を与えている可能性があり、耐荷力の評価が必要な場合。</p>	
<p>備考</p>		

その他	ゆるみ・脱落	鋼
一般的性状	ボルトにゆるみが生じたり、ナットやボルト、リベットなどが脱落している状態。ボルト、リベットが折損しているものを含む。	
	例	<p>ボルトが抜け落ちている状態。</p> <p>(地震などの大きな外力によってボルトが破断することがある)</p>
	例	<p>ボルトが折損している場合。</p>
	例	<p>高力ボルトが抜け落ちている場合</p> <p>(高力ボルトでは、遅れ破壊が生じている可能性がある。)</p>
	例	<p>支承のアンカーボルトや取り付けボルトが緩んでいる場合</p>
備考		

その他	防食機能の劣化	共通
一般的性状	鋼部材の、防食システム（塗装、めっき、金属溶射など）に変状がみられるもの。（耐候性鋼材の場合、腐食で評価する）	
	例	発錆は見られないものの、上塗り塗装に顕著な劣化が見られる状態
	例	発錆は広がっていないものの、塗膜の劣化が進行しており、下塗り塗装が暴露している状態。
	例	めっきの劣化や、めっき面塗装の劣化が見られる状態
	例	めっき部材の表面に錆が見られる状態
備考	<p>■被覆系の防食層は劣化が進むと母材の発錆リスクが急激に高まる。</p>	

その他	うき・剥離・鉄筋露出	コンクリート
<p>一般的性状</p>	<p>コンクリート部材の表面に浮きや剥離が生じた状態。剥離部で鉄筋が露出している場合を鉄筋露出という。（ひびわれを伴う場合、ひびわれでも評価する）</p>	
	<p>例</p>	<p>コンクリート部材に、剥離・鉄筋露出がある状態 （コンクリート片が落下することがある）</p>
	<p>例</p>	<p>コンクリート部材にうきや剥離がある場合 （内部で鋼材の腐食が進行している場合がある）</p>
	<p>例</p>	<p>コンクリート部材にうきや剥離がある場合 （地震等の大きな外力によって、部材内部にひびわれが進行している場合がある）</p>
	<p>例</p>	<p>コンクリート部材にうきや剥離がある場合 （補修部の再劣化により、うきや剥離が発生する場合がある）</p>
<p>備考</p>		

その他	漏水・遊離石灰	コンクリート
一般的性状	コンクリート部材の打ち継ぎ目部などから、水や石灰分の滲出や漏出が生じている状態。（ひびわれを伴う場合、ひびわれでも評価する）	
	例	<p>コンクリート部に埋め込まれた部材周囲から漏水が生じている状態</p> <p>（埋め込み部内部で著しく腐食していることがある）</p>
	例	<p>床版から漏水が生じている状態</p> <p>（貫通ひびわれなどにより、同じ箇所から漏水が継続する場合、局部的劣化が顕著に進行することがある。）</p>
	例	<p>部材同士の境界部から漏水が生じている状態</p> <p>（間詰め部が劣化していたり、部材内部に雨水が侵入し、部材が劣化していることがある）</p>
	例	<p>プレキャスト部材の継目部から漏水と遊離石灰の析出が生じている状態。</p> <p>（部材間のPC鋼材や鉄筋が腐食したり、鋼材に沿って部材内部に腐食が広がることもある）</p>
備考		

その他	補強部材の損傷	コンクリート
<p>一般的性状 コンクリート部材を補修または補強した、鋼板、シート、塗装などの被覆材料に変状が生じている状態。（コンクリートによる補強部材は、本体の損傷として扱う）</p>		
		<p>例 床版裏面の補強鋼板に、床版内部への雨水の侵入が疑われる腐食が見られる場合 （内部で床版の劣化が進み、突然の抜け落ちに至ることがある。）</p>
		<p>例 補強部材（鋼板）の再劣化（腐食、うき）が見られる状態 （補強効果が失われていたり、補強部材内部で劣化が進行していることがある）</p>
		<p>例 補修した部材（表面保護工）の再劣化が見られる場合 本例では、コンクリート桁にもひびわれが生じており、「コンクリートのひびわれ」でも評価する。</p>
		<p>例 補修した部材の再劣化が見られる場合、外観から見えない内部で損傷が進行していることがある。</p>
<p>備考 </p>		

その他	遊間異常	共通
一般的性状	桁間の間隔や、伸縮装置、支承、落橋防止システムの変位や遊間に異常がみられる状態	
	例	<p>桁端部が下部工と接触している状態</p> <p>(下部工が変位していることがある)</p>
	例	<p>伸縮装置の遊間が異常に狭くなっている状態</p> <p>(地震の影響によって、下部工が変位していることがある)</p>
	例	<p>伸縮装置の遊間が異常に狭くなっている状態</p> <p>(地震の影響によって、下部工が変位していることがある)</p>
	例	<p>伸縮装置の遊間が不均等（橋軸直角方向）になっている状態</p> <p>(地震の影響による下部工の変位以外にも、上部工の異常や支承の損傷などで上下部工に異常な水平変位が生じていることがある)</p>
備考		